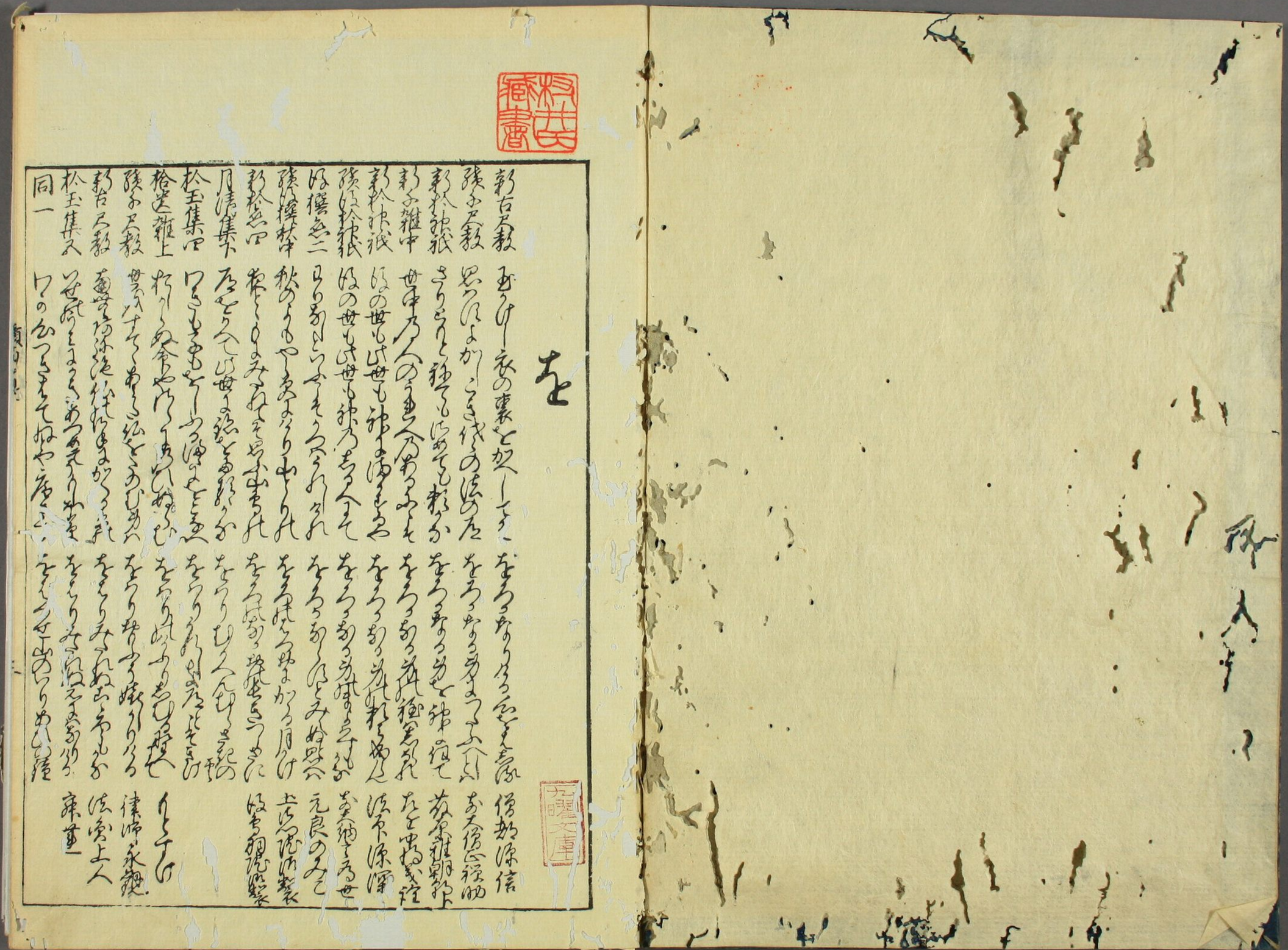
古今類句

十七



彰古百首
殘月百首
彰松殘雪
彰古雜中
彰松殘雪
殘月松殘雪
彰松殘雪
殘月松殘雪
殘月撰林
彰松殘雪
月清集下
松玉集冬
拾遺雜上
殘月百首
彰古百首
松玉集冬
同一

大曙文庫

同六
拾遺雜下　　藤原為時
新葉秋　　源信明
拾玉集三　　賀茂
古今雜上　　律師仙覺
大和物語　　小野小町
新撰和歌　　橘家俊宗
同
千載雜上　　藤原敦仲
新千載上　　源信明
隣女雜下　　賀茂
拾玉集一　　夏秋流井
同雜上　　律師仙覺
新葉秋下　　藤原家良朝臣
隣女雜下　　小野小町
壬生二家上

拾玉集四　　藤原為仲朝臣
新後撰雜　　橘為仲朝臣
同雜一　　藤原秋能朝臣
拾玉集二　　藤原為仲朝臣
千載雜上　　藤原為仲朝臣
新千載上　　藤原為仲朝臣
隣女雜下　　藤原為仲朝臣
壬生二家中　　藤原為仲朝臣
新後撰二　　藤原為仲朝臣
大和物語　　藤原為仲朝臣
拾遺雜下　　藤原為仲朝臣
新撰和歌　　藤原為仲朝臣
風雜雜上　　藤原為仲朝臣
風雜冬　　藤原為仲朝臣
拾玉集又　　藤原為仲朝臣
新撰雜上　　藤原為仲朝臣

風雅雜上　後二位家隆
拾遺恋五上
新拾雜上　藤原定資
拾遺雜上
新拾雜上
新古今上　藤原清輔朝臣
壬生二条上
万葉秋上　藤原為家
拾遺恋五上
拾遺恋五上
新拾雜上
新古今上　藤原為家
新拾雜上
新拾恋上
新拾雜上
新拾雜上
新拾雜

拾玉集六
古今秋下
拾遺秋
後拾遺一
山家集
後拾遺秋上
古今六一
金葉上
新古六二
後古冬
壬生二首上
玉葉冬
壬生二首上
玉葉六一
古今六
後撰秋上
後拾遺雜二
拾遺集下

雪とのみ見てこそ出し秋風の
ふきぬるかぜの山の吹風の
ふきぬるかぜ山の吹風の
奥山の岩ねの清水
初河の水
ながれ
秋風
ふく
ふく
ふく

大和物語
新古今秋下
拾遺集外
後撰拾遺
新後撰秋上
新後拾遺
新勅撰秋上
玉葉秋上
新後撰下
後千載上
新後拾遺
新勅撰一
拾玉集六
玉葉冬
山家集下
拾玉集七
風雅冬
後古秋上

新拾冬
月清集
壬生二首上
新後撰上
後拾秋下
新拾秋下
後後拾遺
千載雜中
同冬
新後古冬
後千載二
風流集下
後拾雜秋
後衣一
後古冬
新勅雜一
拾遺賀
後後撰冬

拾遺愚草上　光孝天皇御代　源宗于朝臣
新勅撰　天暦御代　藤原敦忠朝臣
拾遺愚草上　天徳内裏歌合　藤原朝忠
続後撰雑上　月のゆく雲のうへにまてとやとはん　四三位重氏
拾遺愚草上　天津風雲の通ひ路吹とじよ　僧正遍昭
古今雑上　あまつ風雲の通ひ路吹とじよ　僧正遍昭
拾遺愚草中　白雲の天ぢを分て衣うつ　藤原清正
千載雑上　秋ぬさ手向やうつる月の舟　藤原清正
拾遺愚草上　いれすまさしとやうつる月の舟　藤原清正
新千冬　なきて来まくるおもかげ　藤原清正
新拾冬　宇治の里の宿り衣きてたれか　藤原清正
月清集　夜さむ野の草の露　藤原清正
新千秋上　なにさうよりとなく蟋蟀　大納言経信
千生二京中　墓目山いとねはれ吹風の　大納言経信
続拾遺雑　八月十五夜月の歌　中納言実房
拾玉集四　木がらしの吹ちらす山の端の月　中納言実房
玉葉恋下　世の中あつ入日の残る秋の月　藤原信実

新勅撰恋下　吉野河ながれのうへの秋の月　藤原為家
風雅夏　みそぎ川ながれの下葉ながめ　藤原為家
同秋上　吹捨てるあるかの風のなごりかな　藤原為家
同雑中　いまもいまもしらぬ海ぞ　藤原為家
同恋中　ながめつる山路の月の　藤原為家
月清集上　明石の浦の月の　藤原為家
続後撰雑中　山里の月のあはれ　藤原為家
続古今二　山ぢ分て月の光　藤原為家
新拾恋三　名月の月の光　藤原為家
風雅雑中　山路の月の光　藤原為家
新続古今　月の光の色　藤原為家
拾玉集六　秋の別れ　藤原為家
風雅雑中　まさ人のつりなる人　藤原為家
新続古今　なりぬるの長いてそ　藤原為家
風雅秋下　秋の雨ぬれてなつる　藤原為家
山家集上　松人のまさりやの　藤原為家
風雅秋下　庭の西の萩の枯葉　藤原為家
同恋下　まさりぬさくらの花　藤原為家

二条院讃岐　なにはの浦の月の　二条院讃岐
続後撰雑上　なにはの浦の月の　二条院讃岐
新千秋上　なにはの浦の月の　二条院讃岐
伏見院御製　なにはの浦の月の　伏見院御製
進子内親王　なにはの浦の月の　進子内親王
寂蓮法師　なにはの浦の月の　寂蓮法師
順徳院御製　なにはの浦の月の　順徳院御製
為氏卿女　なにはの浦の月の　為氏卿女
為尹卿女　なにはの浦の月の　為尹卿女
崇人公女　なにはの浦の月の　崇人公女
小辨　なにはの浦の月の　小辨
為兼卿女　なにはの浦の月の　為兼卿女
玉葉伝宣園　なにはの浦の月の　玉葉伝宣園
源三位頼子　なにはの浦の月の　源三位頼子

殘柳秋上
新古雜上
殘千雜上
落雲
拾遺雜下
壬生二京中
殘秋撰秋
拾遺雜上
壬生二京上
秋拾遺秋上
壬生二京中
新殘古冬
新古秋下
拾遺雜上
壬生二京中
新後拾夏
秋撰秋上
壬生二京中

夕雲はなほ秋の花すき
まねくみなれぬやとのうらつたの
もとあさ行くとこのうちつ子
ゆきくれて雪もさそはぬ心をぞ
後葉なれもの笛ふく秋風の吹
武蔵野は秋の焼原ふる初
秋の月何をもとめて物思ふ
朝霧の花のくすなきて
夏の日の野辺の秋の夢ハ
物思ひ川きりのはてぞ
白雲の野辺の雲にうちつ子
山里はさびしの雲の
あらしもふかぬ宮ぬれ
系ふ船はれ月をも雲天河
卯花の垣ほのうちの
七夕は天の戸わたる今宵
霧の立つもの来ぬ人

ちちち

大和物語
月清集下
新拾遺雜春
玉葉雜一
壬生二首中
拾遺愚帰
壬生二首上
玉葉雜一
風雜秋下
壬生二首上
続後拾春上
新後拾冬二
新古今雜春
続後拾冬二
風雜秋上
玉葉秋上
続後拾秋上

壬生二首中
拾遺愚帰
風雜秋上
拾遺雜秋
壬生二首下
拾遺雜秋
新千雜上
拾遺雜秋上
新千雜秋上
拾遺雜秋上
順廣
新千雜一
新後撰
新葉冬
新後拾冬
新葉雜中
新千雜中
風雜上
玉葉冬

永徳四年
人歌合

後三條院御
前大僧正慶
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

風雅巻三
後古巻二
新千々
新勅巻一
新葉書上
岩本
夜巻三
[illegible]
新拾雅上
拾玉集巻中
風雅巻三
新勅巻
山部集下
後拾雅上
新千雅中
千十二京
拾玉集三
新古雅上

[illegible]
[illegible]
[illegible]

後の夢
月清集下
後拾遺秋上
月清集下
長秋詠藻下
月清集上
拾遺雜秋
長秋詠藻
玉葉秋上
後古今雜中
新後古今上
後拾遺秋上
拾遺貞外下
後撰秋上
湖月

山陰や谷川の水のうすこほり
なのそこせよ流れ出るら
ん
雲の衣秋風ふきぬ
なのそこせよ流れ出るら
ん
さらでだに山の端ちかく
なのそこせよ流れ出るら
ん
山川の流れ
なのそこせよ流れ出るら
ん
とまれかくまれ
なのそこせよ流れ出るら
ん
流れ
なのそこせよ流れ出るら
ん
水の上
なのそこせよ流れ出るら
ん
なのそこせよ流れ出るら
ん
なのそこせよ流れ出るら
ん

拾遺五首下
伊勢物語
拾遺五首下
新後撰雜上
新古五首下
拾遺五首上
玉葉雜
後拾遺雜三
拾玉集三
月清集下
拾遺五首上
同
新後撰五首
拾遺五首
拾遺五首上
金葉秋
後拾遺秋上
拾遺五首上

池をしむる所の月れあるる秋の夜の月
はるかにもなりぬるかな月の
みつ山よりあるる秋の月
谷川はゆき水ゆるる
谷川はゆき水ゆるる
緑なる松のかげにあるれと
所をこそ思へ
別れていつくにとかりのんん
何ゆへかあの月の
住吉のつる紀乃とも
牡鹿の鳴よりはやうつる
つまこそ
うちつる
秋のそぬらす
春の野にあさるきしの
立雑のり
拾ちる
交城野の
秋のきて

名月信家卿
月
重之
右近中将
法中宮基
大津家物
花原序家
皇太后宮
月

新後撰五首
新後拾雜春
拾遺五首下
月清集上
新後拾雜上
新後拾夏
新後拾夏
新勅夏
後古夏
新勅夏
千生三百中
玉葉雜
伊勢物語
新古五首
拾遺五首上
同花夏
古今五三
拾遺五首下

月
月
月

拾玉集二
拾遺愚草下
玉葉雅
竹河
拾遺愚草上
新後撰雅
古今秋
後拾遺
古今秋上
拾遺愚草下
拾玉集二
風雅愚上
後拾雅
後拾秋上
新葉愚草下
後撰雅
新後拾秋上
壬生二尺中

風雅冬
拾遺愚草上
新古尺教
新後拾愚草下
新古秋下
拾玉集六
壬生二尺中
玉葉雅一
月清集下
拾遺秋
拾遺愚草下
後拾愚草上
新古雅
新後拾雅上
同冬

新古今
新後拾遺上
新千載下
新後撰上
金葉秋
後拾遺雜上
風雅雜下
山家集下
拾遺雜上
後撰雜
拾遺雜上
新古今
新後撰雜
新葉哀傷
新古今哀傷

源のしたしき水をもみなせばの
雅文の出所は是ときこしよりの
こらひなてつゝしの海ん是をく
五月雨の雲霧なてなてなてなて
さうく源数なりの切源月見
数とうなりなてせきふ
四季哀とんのつもりへこれ
今まても源くのりつる霧の月
なるとてのやりの今をこ源の
てるやをこをこ山海なて秋を
かるれは日をのつり年月を
行りへとのをこをこのりて
石弾をひとりまるくなりを
数くりの数くなるめもへて
雅を源をとをこをこ第くよりも
立くり山源のをこをこ霧の
よりをまの邸をあ洞の邸
今くをあるあり邸なる秋の

花盛春仏
春中酒吉屋考
中酒吉國信
雅宗光三郎
源三位頼政
紫式部源氏
中原師兼
中酒吉定家
中酒吉宗家
大酒吉長家
静仁法親王
開白百首
中酒吉

後撰雜
新後撰雜下
千載雜中
金葉雜上

後撰雜の
葵
拾遺雜
新後撰雜上
拾玉集七
岩の木
新葉哀傷
新葉哀傷
新葉哀傷
月清集下
拾遺哀傷
後撰雜
後撰雜
後撰雜
後撰雜
後撰雜
後撰雜下
千載雜中
金葉雜上

後撰雜の
人の世をとをこをこ
あるをこをこ
それのをこをこ
よりをこ源の
きをこをこ
みをこ人をこ
時をこ
一山をこ
をこをこ
をこをこ
をこを

古今集雜下
新古雜下
新勅雜一
新後撰雜上
風雅哀
新後雜下
玉葉雜三
後撰哀
新勅哀傷
後撰秋下
山家集下
後撰雜下
新後雜下
後撰哀傷
新古哀傷
山家集上
後撰秋下
新拾秋下
玉葉雜一
新勅雜二
拾遺哀
後撰秋下
拾遺秋
後撰拾哀
新後拾哀
新古秋上
後撰雜三
山家集上
新古哀上
拾玉集一

新後哀傷
新後哀傷
後撰雜下
山家集上
新拾秋下
玉葉雜一
新勅雜二
拾遺哀
後撰秋下
拾遺秋
後撰拾哀
新後拾哀
新古秋上
後撰雜三
山家集上
新古哀上
拾玉集一

新拾貞　玉葉秋上　後千雜秋　後撰秋中　新勅秋下　後撰哀傷　新拾哀哀　古今物名　新古雜下　拾玉集四　新葉秋秋　拾玉集六　玉葉哀三　金葉哀　拾玉集二　古今物名　後撰秋中　後撰哀二

拾遺哀草　後撰雜一　壬生二条上　千載冬　拾玉集七　玉葉雜四　同哀三　後撰哀一　壬生二条上　新勅哀一　新古哀三　後千哀一　新千哀一　新後百哀　同哀　拾玉集三　後拾遺哀　風雅雜中

新古秋上
山家集上
新後拾冬
風雅雜上
新拾雜上
後拾遺秋
金葉雜上
風雅冬
新拾冬二
後拾秋
後千雜中
新勅秋下
拾遺愚草上
風雅雜上
新勅春三
後撰春六
後拾春一
拾遺愚草上

秋の月まつのをやまをる新こけて
なをさらこゑもうをぶかれ
又月ゐの行へきをたれてもはる
まをるもてゝ物ものいとなまめ
風をまへはまるこゝわくまをのへ
ををかれはきをよりはるゝ
ををくをくをくをくを松をのを
をきとこをるをくをゆふつのも
きとこをるをくをゆふこをる
草はをまをのをひくもをくををめ
物ををはをくををををのをの
ををきとこをるをくをゆふをる
我ををををををををををををを
ををきとこをるをくをゆふをる
秋のをををををををををををを
ををきとこをるをくをゆふをる
山ををををををををををををを
ををきとこをるをくをゆふをる
う紀世をを秋の末をの春の月
秋ハをの月ハをををををををを
ををきとこをるをくをゆふをる
ををををををををををををを
ををきとこをるをくをゆふをる
ををををををををををををを
ををきとこをるをくをゆふをる
ををををををををををををを
ををきとこをるをくをゆふをる
いをふををををををををををを
ををきとこをるをくをゆふをる
ををををををををををををを
ををきとこをるをくをゆふをる

源新光
権律師慈成
らみ
能登法師
ををををををををををををを
ををををををををををををを
前大納言良教
隆縁法師
入道殿百首
侍従貞定母
をを
源上人
後法
ををををををををををををを
ををををををををををををを

十七

新後雜中
月清集上
拾遺愚草上
新古秋上
新後拾春一
新後雜上
風雅秋中
新後拾冬
風雅大教
新後雜上
後千秋下
拾遺愚草上
同
新古冬
壬生二条中
新古春上
壬生二条中

風さををををををををををををを
ををををををををををををを
ををををををををををををを
を

古今秋下
拾遺恋五
新古秋下
拾遺恋五
同上
壬生二首上
新葉冬
拾遺雑上
後拾遺秋上
河院秋
新勅撰三
玉葉雑一
拾玉集四
後拾遺秋上
新古秋下
金葉雑上
古今物名
新後撰雑

拾遺賀上
拾玉集二
新後拾遺雑
新勅撰雑
新古秋下
拾遺恋五上
後拾遺雑
長秋詠藻
新古恋
壬生二首中
後拾遺傷
新後撰
拾遺恋五下
風雅雑上
新後雑中
拾遺雑上
後拾遺恋三
新拾恋三

玉葉秋上　野山の秋のうまつぶさ　とりつまもしの山の
後拾撰秋上　武士の呂田の里の落ちもの　とりつまもしの山の
拾遺玉葉上　春ぬるを萩の花ちるとも　きりもこそ秋乃山里
山家集上　萩ちる乃雲あ子の秋風よ　そらの月ぬ成ぬ
新勅撰秋　あらしの風ぬ吹ぬ　春の夜隆信朝臣
新後拾遺春　やとてもやかうあるうぬ　とりつむの春の月用　覚繞法師
拾遺玉葉上　とりつ乃秋乃あ子れ　やの一まけ風ぬ
壬生二位中　世ぬ入てらうさ乃ぬ　とりを吹ぬ
拾玉集六　うきの中ぬうぬ人の　とりをつてとぬ
拾遺愚草上　世ぬ入てやとりてさへ　とりをつ乃さ
金葉冬　中くぬ雨の乃ぬ　とりをつ乃ぬ
玉葉冬　ぬ乃ぬ乃ぬ　とりをつ乃ぬ　前参議六條
後古雑中　風ぬけぬ　とりをつ乃ぬ　勝命法師
新古四時旅　ぬ乃ぬ　とりをつ乃ぬ　大納言
拾遺愚草上　ぬ乃ぬ　とりをつ乃ぬ　皇太后宮大夫俊成
新後拾遺秋下　ぬ乃ぬ　とりをつ乃ぬ
同六二　つ乃ぬ　とりをつ乃ぬ　左衛門督
拾遺愚草上　秋ぬ入ぬ　とりをつ乃ぬ

拾玉集六　うつつ山張の高の清水　そ乃清水ぬ神乃ぬ
後拾遺春上　乃ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ　照寺僧都
山家集下　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ
拾玉集四　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ
未摘紀
拾玉集七　乃ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ
同六　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ
同七　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ
新後拾遺　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ　光明峯寺入道摂政
後古春上　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ　順徳院御宇
新千春三　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ　洞院摂政家
拾遺愚草　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ　すぬ乃ぬ
後拾遺雑四　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ　和泉式部
長秋詠藻　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ
山家集下　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ
拾玉集二　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ
風雅雑中　清水乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ　後二位乃子
後撰雑三　ぬ乃ぬ　そ乃ぬ乃ぬ

千載集　　源雲[illegible]

[illegible]　　[illegible]

新拾遺抵　　[illegible]

風雅冬　　初雪[illegible]

拾遺愚草　　山風八月乃[illegible]

風雅雜中　　[illegible]

壬生二[illegible]中　　[illegible]